

北陸信越運輸局

技術系職員（自動車・鉄道）

の業務紹介

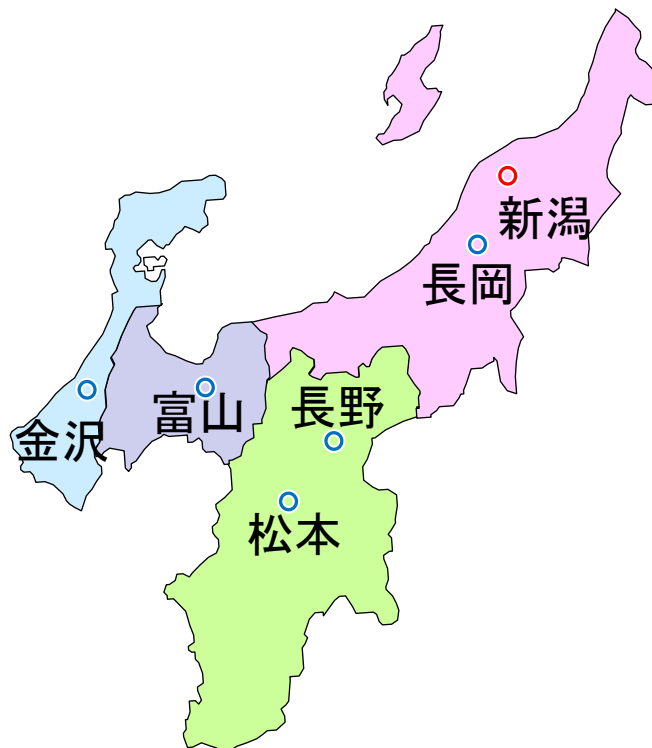
北陸信越運輸局

国民が安心して快適に移動ができるよう、国土交通省北陸信越運輸局の技術系職員は、自動車や鉄道輸送の安全・安心の確保、環境対策等に取り組んでいます。

自動車

- 安全性確保
- 公害防止
- 環境保全
- 整備技術の向上
- 自動車整備事業の健全な発達

北陸信越運輸局

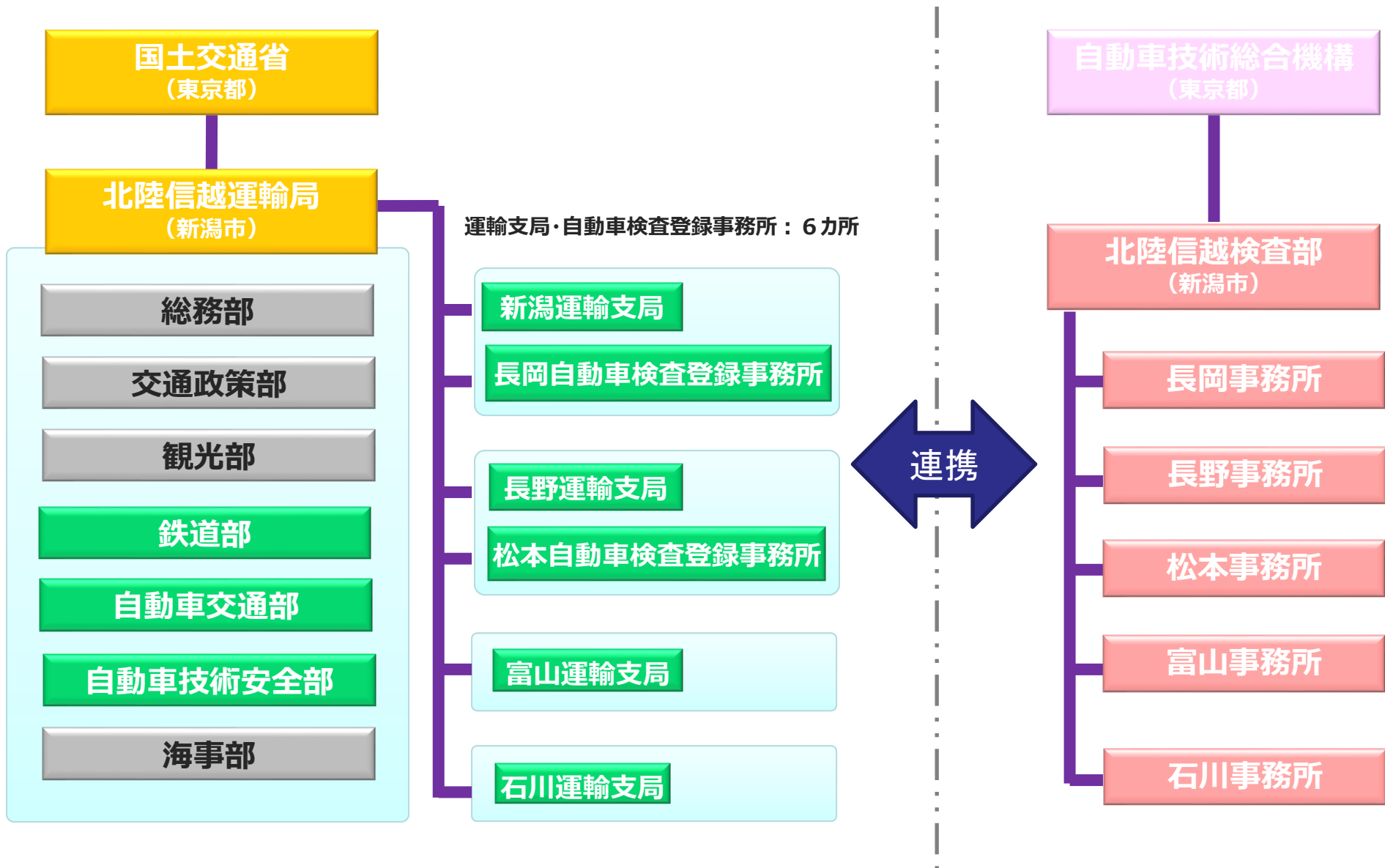


鉄道

- 鉄道輸送の安全確保
- 鉄道等の利用者の利益保護
- 鉄道事業者等の健全な発達
- 環境対策

* 鉄道部署は新潟市のみ

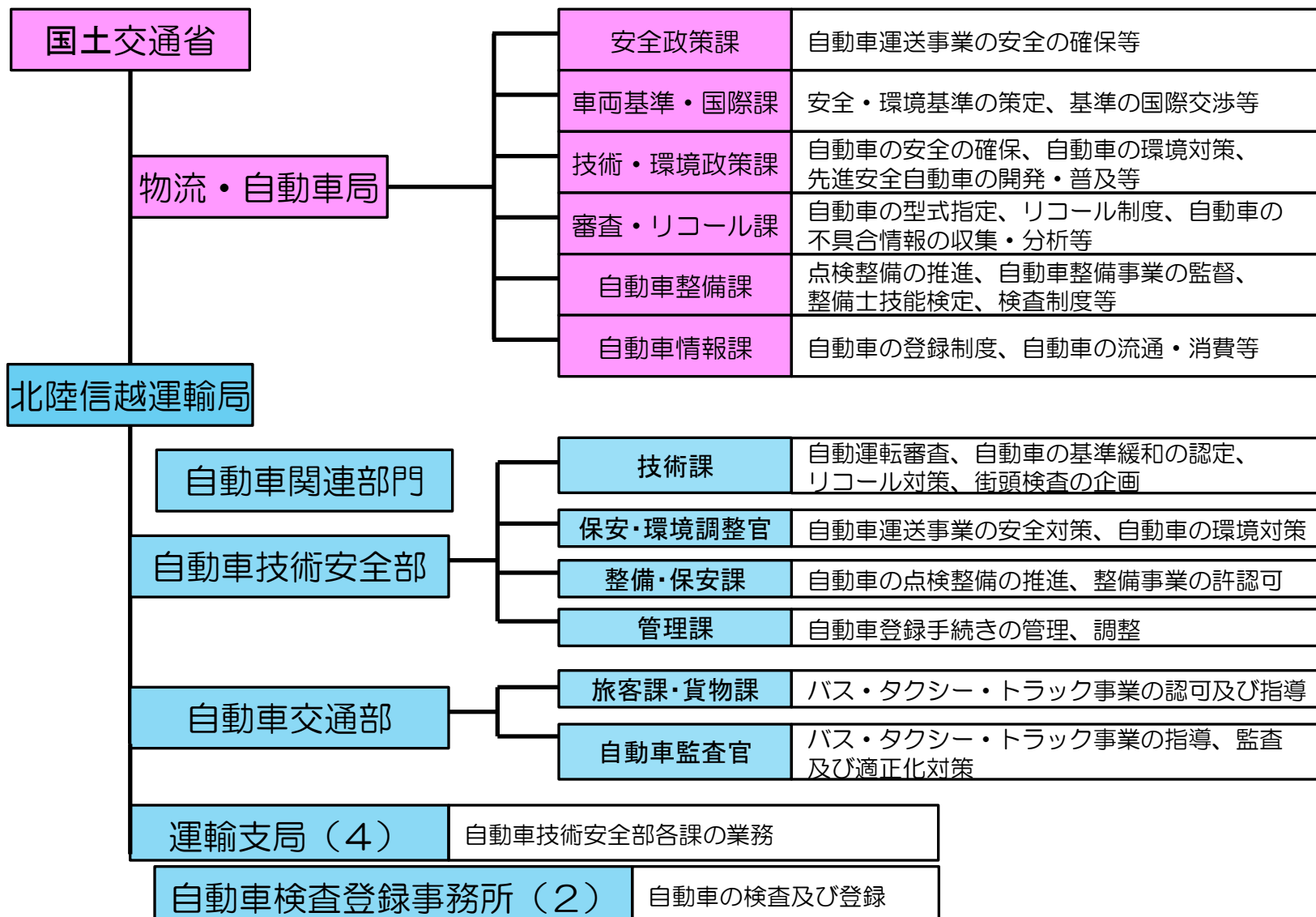
北陸信越運輸局の組織



自動車関係

石川運輸支局 構内

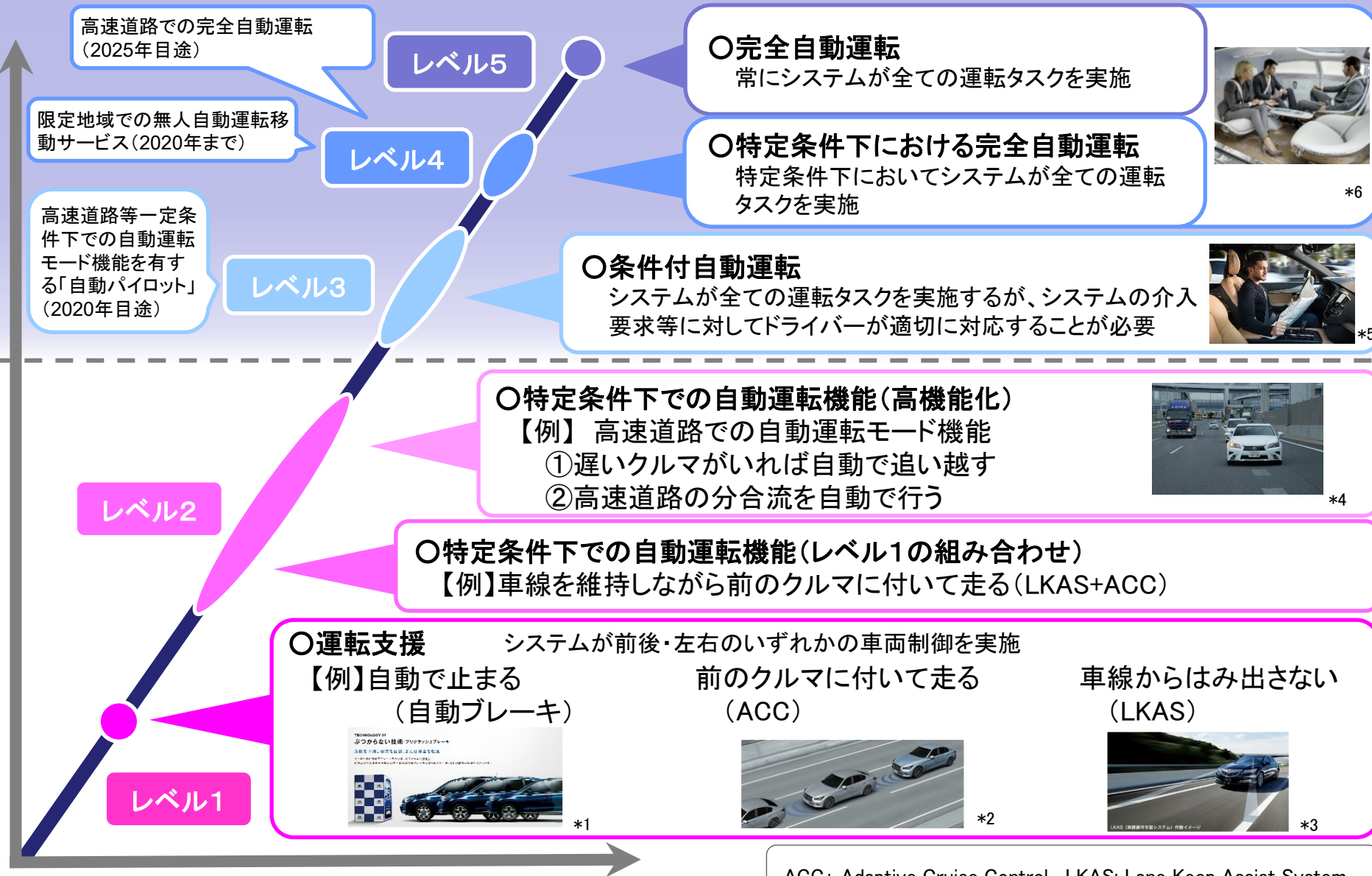




国土交通省の施策（自動運転）

システムによる監視

ドライバーによる監視



*6



*5



*4



*1



*2



*3

ACC: Adaptive Cruise Control, LKAS: Lane Keep Assist System

官民ITS構想・ロードマップ2017等を基に作成

*1 (株)SUBARUホームページ *2 日産自動車(株)ホームページ *3 本田技研工業(株)ホームページ
 *4 トヨタ自動車(株)ホームページ *5 Volvo Car Corp.ホームページ *6 CNET JAPANホームページ

金沢大学
高度モビリティ研究所 計測制御研究室
【ロボットタクシー実証実験】



(提供)金沢大学

実証中

弥彦村
【自動運転実証実験事業】



(撮影) 運輸局職員

実証中

小松市
【2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業】



R7.3
車両レベル4
認可取得

実証中

塩尻市
【塩尻型MaaS×高度無人自動運転サービス社会実装プロジェクト】



R8.2
車両レベル4
認可取得

R8.3
レベル4運行
許可取得

実証中

(注)
本資料は事業進捗を示したものです。
実際の車両運行状況に関しては、各自治体等にご確認ください。

安全の確保、公害の防止、環境の保全のための制度

(道路運送車両法)

(1) 自動車の検査制度と点検整備制度

- (検査) 自動車が基準に適合しているか確認
- (点検整備) 日常的、定期的に実施し基準適合性を維持させる

(2) 自動車の基準・認証制度

- 自動車メーカー等が基準適合性について審査を事前に受け、新規検査の効率化を図る制度

(3) 自動車のリコール制度

- 自動車メーカー等が設計・製造上の不備があったとき、安全確保のため回収・無償修理を行う制度

(4) 自動車運送事業の安全対策

- バス、タクシー、トラックの事故防止や環境対策など

(5) 自動車整備事業の育成と指導・監督

- 整備工場への監査・監督のほか自動車整備士の育成など

(1) 自動車の検査制度と点検整備制度

自動車の点検・整備

自動車使用者には保守管理責任があると法律に規定。

自動車を安全や環境などの基準に適合させるために、日常点検整備と定期点検整備を確実に実施することが求められています。

【自動車の両輪】

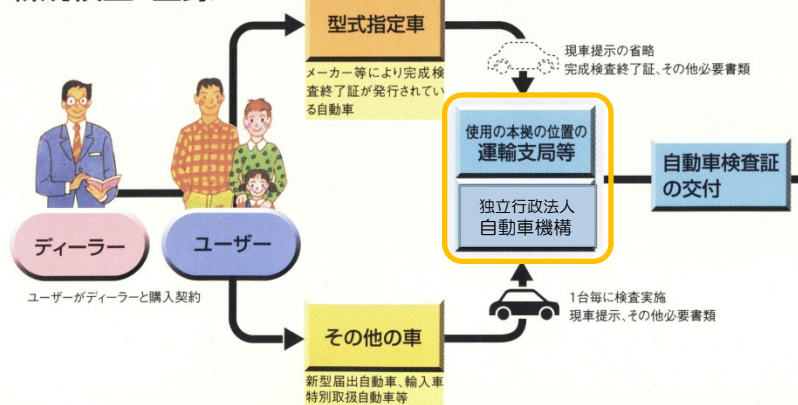
自動車の検査

検査を受けて有効な自動車検査証の交付を受けていなければ運行できないと法律に規定。

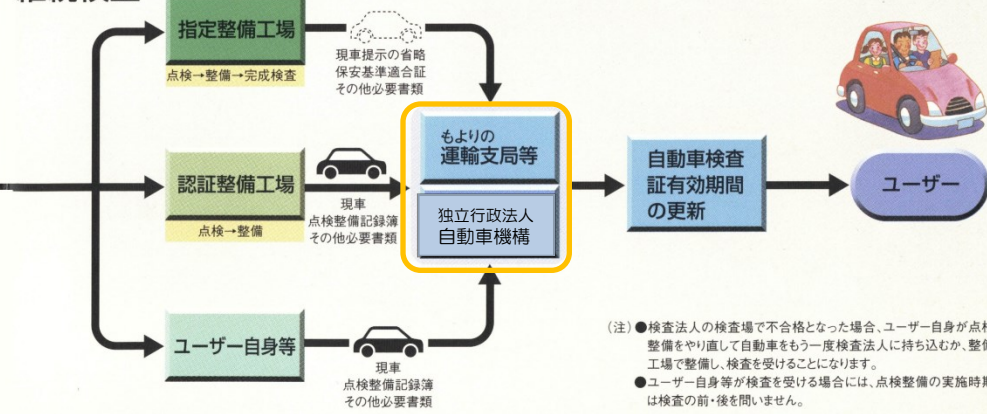
個々の自動車が安全や環境などの基準に適合しているかどうかを、国が一定期間ごとに確認するのが自動車の検査です。

自動車検査の流れ (自家用乗用車の例)

新規検査・登録



継続検査



(注) ●検査法人の検査場で不合格となった場合、ユーザー自身が点検整備をやり直して自動車をも一度検査法人に持ち込むか、整備工場を整備し、検査を受けることになります。
●ユーザー自身等が検査を受ける場合には、点検整備の実施時期は検査の前・後を問いません。

- 車両の基準適合性の審査業務を自動車技術総合機構が行っています。



(2) 自動車の基準・認証制度



前面衝突試験

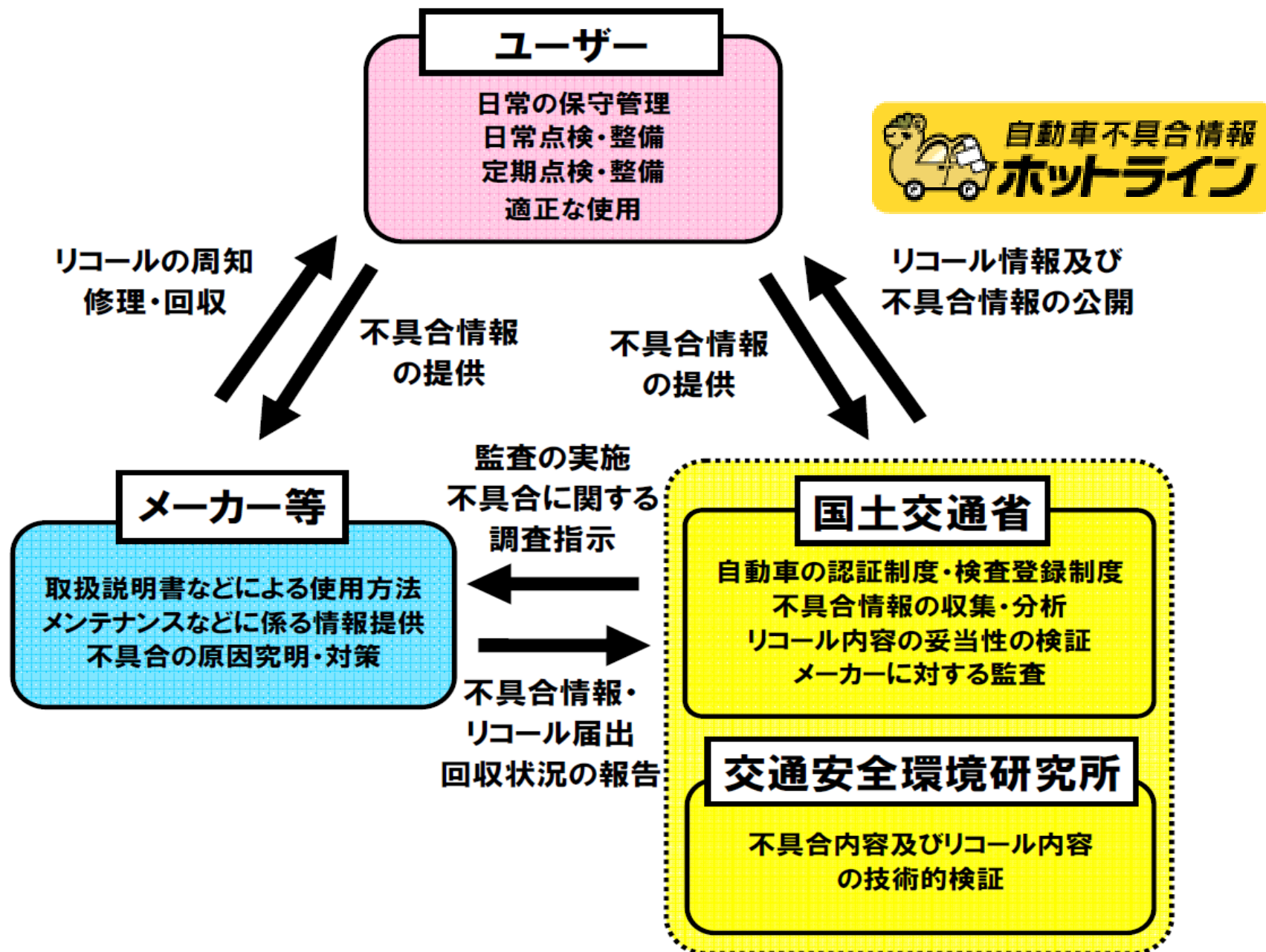


側面衝突試験



排出ガス試験

(3) 自動車のリコール制度



(4) 運送事業の安全対策

事業用(バス、タクシー、トラックの緑色ナンバー)自動車をもっている運送事業者に対し、保安監査と運輸安全マネジメント評価を実施することにより、いわば車の両輪として、安全の確保を図っています。

運輸安全マネジメント評価

事業者の経営トップ等**経営部門**に対するインタビュー等を通じた、**自主的な安全管理体制の構築に対する支援制度**

【主な特徴】

- 事業者の安全管理体制をガイドラインに沿って評価・助言
- 経営トップの主体的関与の下での**自律的な安全管理体制の構築・改善(スパイラルアップ)**を期待
- 自主的な取組の促進
- 中長期的に効果が発現

相互補完的に密接に作用

保安監査

事業者の**現場**における業務実施状況のチェックを通じた**事後監督制度**

【主な特徴】

- 事業者の法令、命令事項等に対する遵守状況等を確認、**改善命令**
- 現場における施設や取組内容等の法令等への適合を意図
- 改善命令等による改善
- 短期的に効果が発現

事業用自動車総合安全プラン2025 (令和3年度～令和7年度)

世界に誇る安全な輸送サービスの提供を実現するために、行政・事業者・利用者の**‘安全トライアングル’**により、総力を挙げて事故の削減に取り組むべく、第11次交通安全基本計画と期間を合わせた事業用自動車の安全プランを策定。

ポイント

- 依然として発生する**飲酒運転、健康起因事故**等への対策、**先進技術の開発・普及**を踏まえた対策、**超高齢社会におけるユニバーサルサービス連携強化**を踏まえた事故防止対策
- 新型コロナウイルス感染症拡大、激甚化・頻発化する災害等に対し、**新たな日常**への移行に伴う事業環境変化における安全対策
- 重傷者数に対する削減目標**とともに、業態毎に一層の事故削減を図るため、**各業態の特徴的な事故に対する削減目標**を設定

【事故削減目標】

<全体目標>

- ①24時間**死者数225人以下**、バス、タクシーの**乗客死者数ゼロ**
- ②**重傷者数2,120人以下**
- ③**人身事故件数16,500件以下**
- ④**飲酒運転ゼロ**

<各業態の個別目標>

- 【乗合バス】**車内事故件数85件以下**
- 【貸切バス】**乗客負傷事故件数20件以下**
- 【タクシー】**出会い頭衝突事故件数950件以下**
- 【トラック】**追突事故件数3,350件以下**

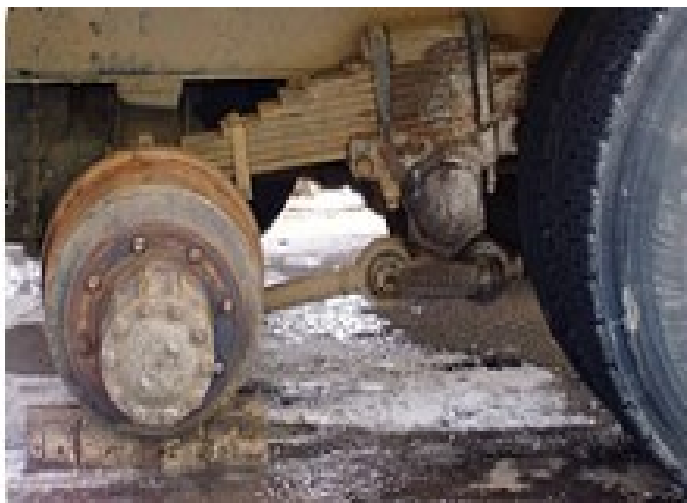
(4) 運送事業の安全対策

ホイール・ボルト折損等による大型車の車輪脱落事故防止対策

ホイール・ボルトの折損等による大型車の車輪脱落事故は、毎年発生しており、過去には脱落した車輪による死亡事故も発生。

当該事故は、冬季（11月～2月）に集中し、冬用タイヤ交換後1ヶ月以内に多く発生している。

このため、警察等と協力して、冬季前にボルトの緩みの点検を行っている。



タイヤ脱落の状況



ホイール・ナット
締付状況 確認



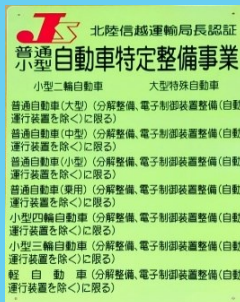
入場車両 運転者から
タイヤ交換等の聞き取り

(5) 自動車整備事業の育成と指導・監督

自動車整備事業者に対する指導・監督

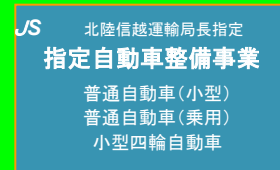
☆ 自動車特定整備事業（認証整備工場）

- エンジン交換、ブレーキの分解、電子制御装置の整備など安全上重要な整備を行う事業を営むためには、国の認証を受ける必要があります。認証を受けた工場には図の標識を掲示しています。



☆ 指定自動車整備事業（いわゆる民間車検場）

- 自動車特定整備事業の認証を受け、優良な設備、技術管理組織、検査の設備を有する工場。
- 指定を受けると、継続検査（車検）の際に、国の検査場への現車提示が省略されます。



自動車点検整備の推進

- 点検整備の推進のため関係機関、団体と連携し、「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開し、重点期間である9月、10月には、各種イベントも実施しています。
- 自動車整備事業者に対する各種研修等においては、車輪脱落事故の防止等を含め、点検整備の必要性をPRしています。



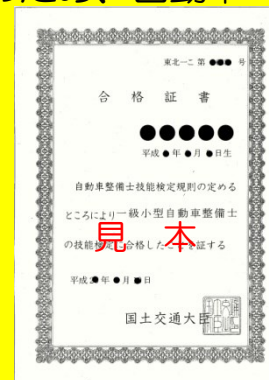
エアバッグの展開



点検教室の様子

自動車整備要員の育成

- 自動車整備に係る整備技能の向上のため、自動車整備専門学校・大学校などの自動車整備士養成施設の指定を行い、定期的に指導・監督を行っています。
- 整備士になるための自動車整備士技能検定試験（国家資格）を実施し、整備要員の育成を図っています。

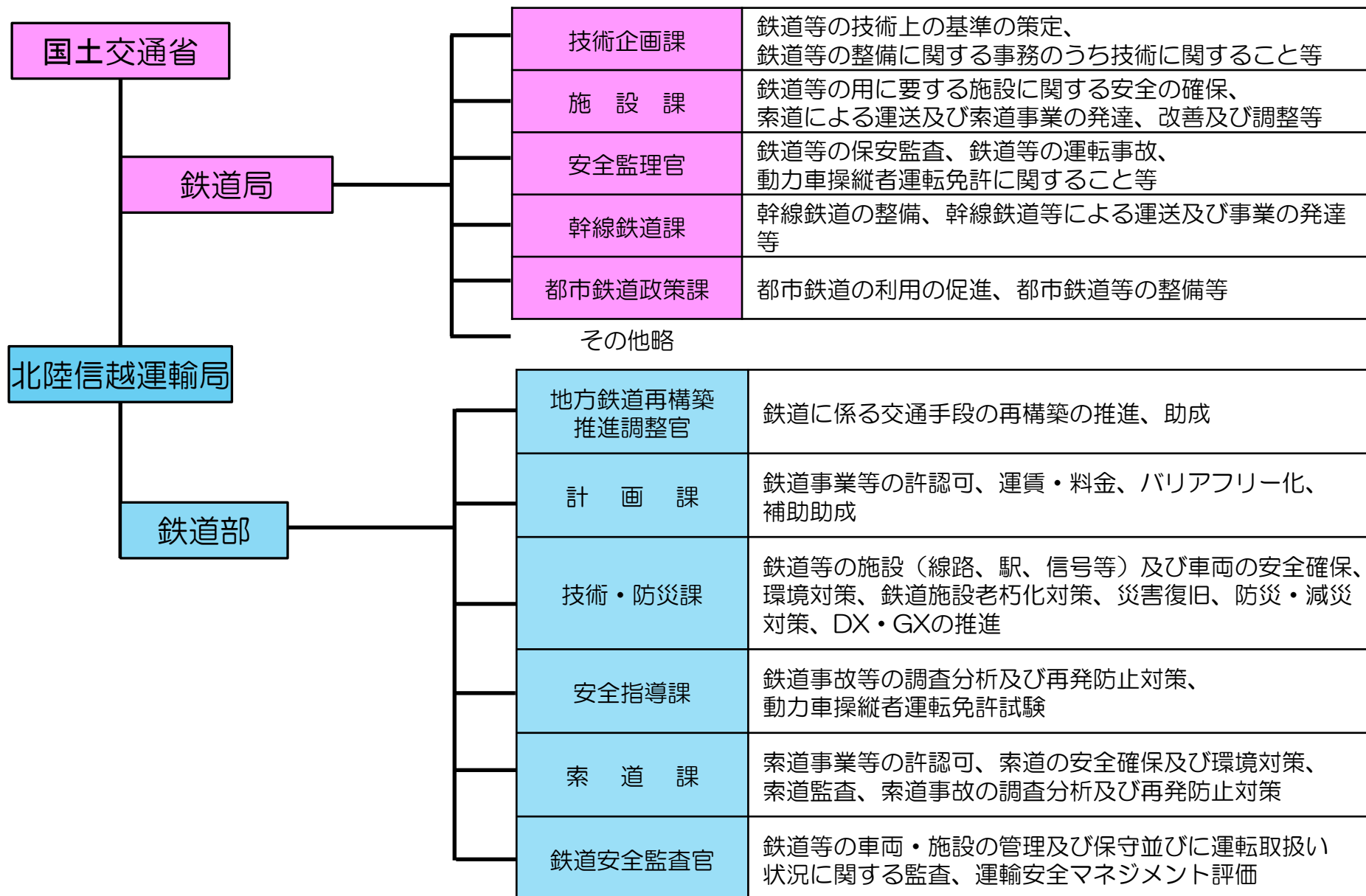


整備士合格証書

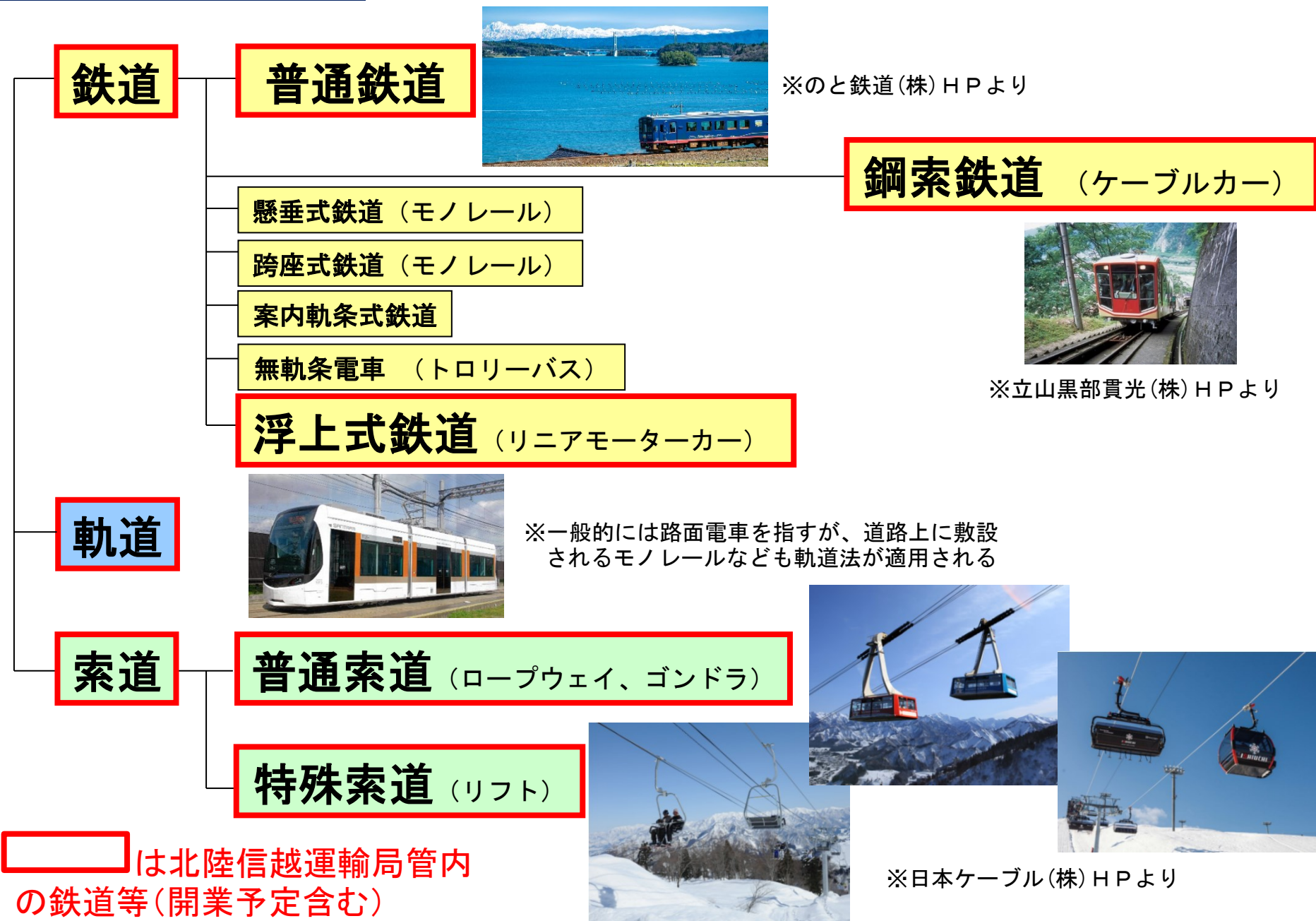
鉄道関係

「雪月花」二本木一妙高高原間





鉄道等の種類



鉄道の安全を、総合力で支える

- 鉄道は、線路等の土木施設、信号保安設備や変電所等の電気施設、機関車や電車等の車両といったハードウェアと、列車の運転取り扱い等のソフトウェアとが一体となった総合システムです。
- 土木、電気、車両及び運転の各分野にわたり安全確保等において、鉄道事業者等を指導しつつ連携や支援をしながら、鉄道輸送の安全・安心の確保に取り組んでいます。
- 社会変化に応じ進化する鉄道事業者と連携して取り組むことで自身の成長と挑戦につながります。

管内の鉄道事業者(JR)

JR東日本

- 上越新幹線
- 北陸新幹線
- 羽越線
- 米坂線
- 磐越西線
- 白新線
- 信越線
- 弥彦線
- 越後線
- 只見線
- 上越線
- 飯山線
- 篠ノ井線
- 大系線
- 小海線
- 中央線

JR東海

- 中央線
- 飯田線

JR貨物

JR西日本

- 北陸新幹線
- 大系線
- 高山線
- 氷見線
- 城端線
- 七尾線

(JR以外)

- ①北越急行(株)
- ②えちごトキめき鉄道(株)
- ③長野電鉄(株)
- ④しなの鉄道(株)
- ⑤上田電鉄(株)
- ⑥アルピコ交通(株)
- ⑦黒部峡谷鉄道(株)
- ⑧富山地方鉄道(株)
- ⑨立山黒部貫光(株)
- ⑩あいの風とやま鉄道(株)
- ⑪万葉線(株)
- ⑫北陸鉄道(株)
- ⑬のと鉄道(株)
- ⑭IRいしかわ鉄道(株)
- ⑮株ハピラインふくい

鉄道の本線の高架化、駅の新設、変電所の新設や施設の変更等があった場合は、施設が法令に適合しているか等の審査、許認可を行い、完成後の施設が基準に適合しているか等を確認するため鉄道施設の完成検査を実施しています。

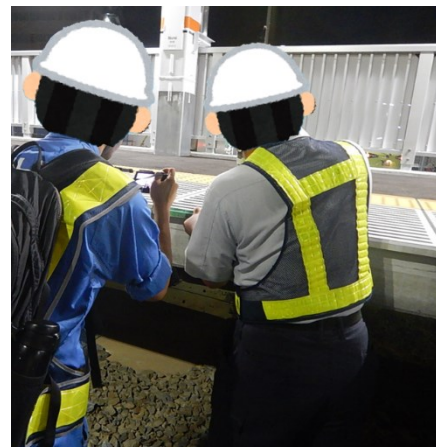
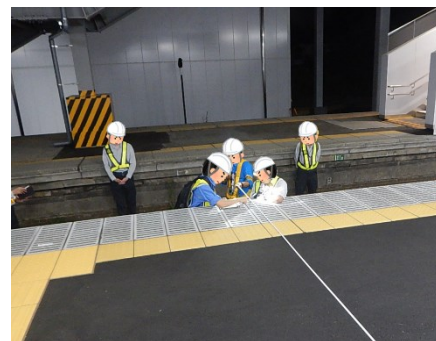
また、新型車両の導入や車両の変更の際に、車両が法令に適合しているか審査しています。さらに、定期的に鉄道事業者に立ち入り、鉄道施設や管理体制等が適切な状態となっているかを確認するため、保安監査を実施しています。



土木：完成検査（軌道）



土木：完成検査（トンネル）



土木：完成検査（ホーム）



電気：保安監査（変電所）



土木：保安監査（軌道）



土木：完成検査（エレベーター）



電気：保安監査（風速計）

鉄道業務内容

鉄道車両の運転を行うには、運転免許の交付を受ける必要があります。運輸局が運転免許試験を実施しています。

また、事故が発生した場合や、災害が発生した場合、被害状況等を確認するため現地調査の実施や早期復旧、再発防止対策等への必要な支援や指導等を実施しています。



運転：保安監査



踏切事故防止キャンペーン



動力車操縦者運転免許試験



復旧工事実施



鉄道施設被害・復旧

索道業務内容

北陸信越運輸局管内は、積雪に恵まれた山岳観光地を有しており、多くのスキー場があります。

ロープウェイやゴンドラ及びリフトは、鉄道事業法で規定する索道に該当し、索道施設の安全性を確認するため、施設変更に関する許認可、リフトの新設等があった場合は完成検査等、索道事業者と連携し必要な支援や指導を実施しています。

また、輸送の安全を確保するための取組が適切であるかどうか、施設の管理及び保守並びに運転扱いが適切であるかどうかを確認するため監査を実施しています。

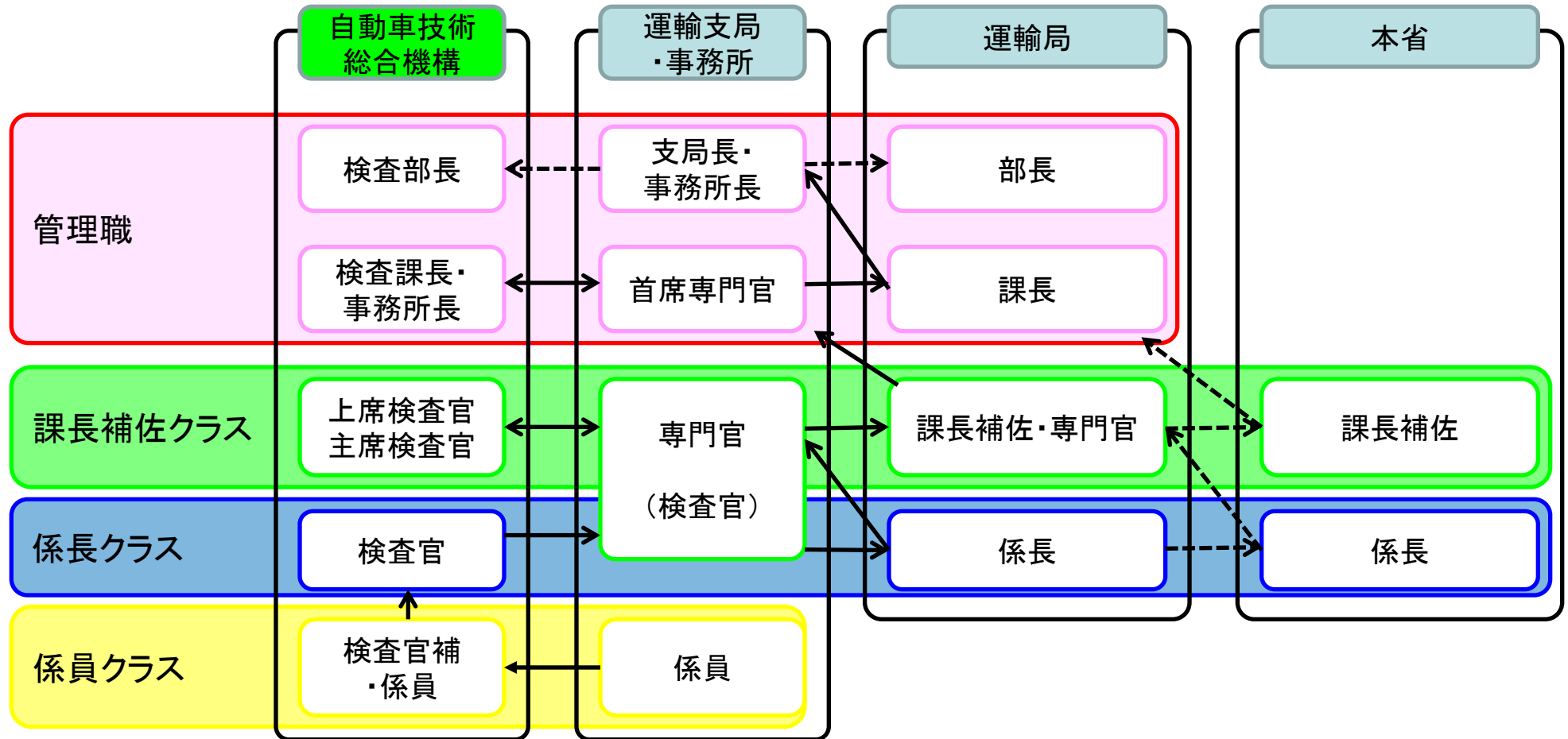


完成検査



保安監査

➤ 異動の一例ですので、矢印以外の異動もあります。



出向先の例

独立行政法人自動車技術総合機構

独立行政法人自動車事故対策機構

軽自動車検査協会

採用後に、自動車、鉄道いずれにおいても、
研修制度があるので、基本的知識がなくても心配ありません。

主な研修科目

自動車

新規採用者導入研修

新規採用者技術研修

初級技術 A 研修

初級技術 B 研修

初級技術 C 研修

鉄道

鉄道技術業務研修（土木・索道）

※土木・索道施設の基礎、関係法令

鉄道技術業務研修（電気・車両）

※電気施設・車両の基礎、関係法令

鉄道技術業務研修（立入検査）

※保安監査の基礎、関係法令

鉄道運転保安業務研修

※運転及び運転免許試験の基礎、関係法令

運輸安全マネジメント評価研修

**最後までご覧いただき、ありがとうございます。
自動車及び鉄道に関する業務内容等について
ご不明な場合には、
ご遠慮なく以下までお問い合わせください。
(事前にご相談いただければ検査コースの見学等も対応いたします。)**

**国土交通省北陸信越運輸局
自動車技術安全部技術課
TEL 025-285-9155**